

計算機で映画を鑑賞する

Content-based Analysis based on Cinematography



吉高淳夫 (Yoshitaka, Atsuo)

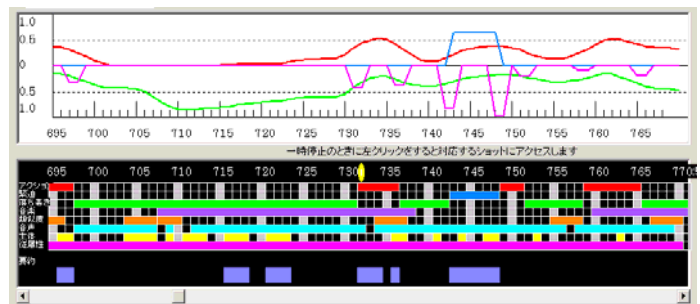
情報科学研究科

2009 **5/29** 12:40 - 13:20

知能科学研究科講義棟 1F
エントランスホール

電子機器やネット環境の進歩に伴い、私たちが接する映像情報の量は増加しつづけています。情報の「洪水」の中から必要とする情報を取り出し、それを効果的に活用する情報検索関連技術の重要性はより高まっています。これまで映像処理は、計算機によって処理して得られた結果を人間の側で目的とする概念レベルでの解釈をし、その意味付けをすることが多く行なわれてきました。人の感覚や感性に関わるような情報では、なおさらこの傾向があります。それでは、人が映像を観て受け取る感性あるいは感情に関わる情報を計算機で扱うことはできないのでしょうか。

本セミナーでは映画やテレビドラマのようなコンテンツを計算機に「観させる」手法、つまり感性情報の視点から映像情報の内容分析を行い感性情報の視点から映像情報へのアクセス性を高める手法について紹介致します。



English slide is prepared. Foreign audiences are also welcome!



5月より、開催場所を知能講義棟1F
エントランスホールに移動します。

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人: 鶴木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉